

選挙戦に對する心得

このたびの府縣會議員選挙は、普通になつて初めての選挙で、極めて重大な意義のある選挙でありますから、既成政黨も各無産政黨も、定めて必死になつて戦ふであらうと思ひます。殊に此の選挙は、日本の無産民衆がどの程度まで政治的に自覚してゐるか、また、どの程度まで訓練され教育されてゐるかといふことを、實地に試験される機会でもありますから、我黨としては、之に全力を傾注して必勝を期するは勿論であります。たゞに當選数の多いといふことばかりでなく、選挙に際しての語り口、運動の仕方、宣傳の方法などといふものにも、十分慎重なる注意を拂はなければなりません。有権者にしても、これまでの有権者は金銭と情實とによつて、どんなにでも動く人々であり、候補者もまた、既成政黨と中立とを問はず、皆、金銭と情實とで投票を掻き集めることを、唯一の方法として居ました。しかし、普通後の新有権者たる無産民衆は、決して左様なものであつてはならない、また、無産政黨の候補者は、斷じて左様な方法を用ひてはならない。これ等の點は今更云ふまでもないことではありますが、特に安部磯雄氏を黨首とする我が社會民衆黨は、あらゆる日本の政黨の中、模範的政黨を以て自他共に許す政黨であります。平素は元より選挙戦に當つても、終始一貫して、公明正大の態度を持し、金銭情實を排するは勿論、斷じて卑劣なる態度を排し、理由なき他黨の惡罵漫罵に對しても、輕々しく之に應酬して、醜態泥試合を演ずるやうなことは慎まなければなりません。今、選挙に際して我黨員の心得置くべき注意箇條を左に列挙いたします。

- あくまで無産民衆の爲に殉ずる我黨の精神、絶対に既成政黨と相容れざる我黨の立場、他の無産政黨に比較しての我黨の態度、勤勞階級の利益幸福を本位とせる我黨の政策、等につき、何人にも理解の出来るやう親切に平易に説明して、我黨立候補の趣旨を選挙民に徹底せしめること。
- 地方一般人の同情と理解とに訴へ、粗暴野卑の振舞を避け、嚴かに金銭の浪費を戒め、理想選挙の模範を示す意氣込みを以て、終始公明正大の態度を一貫し、他候補者の人心攻撃は絶対に避けること。
- 純理論よりは地方の實際問題を捉らへて、選挙民の實感に訴へることを主とし、言葉文章を平易にすること。
- 新選挙法の各條項を精讀し、疑義のある處は十分に研究し、殊に罰則に關しては當局の意見を確かめ、選挙運動上萬一の手落ちなきやう警戒すること。
- 運動方法は文書よりも演説を主とし、演説の機會は成るべく多く獲得するやう努力すること。
- 演説會の開催、文書の配布、ポスター、ビラの貼付等につきましては、その準備及び時機の慎重なる研究をなし、成るべく費用を少くして効果を多からしめること。
- 無産政黨の政治運動は、無産勤勞階級自身の經濟的支持によらねばならぬこと。また、選挙運動の費用は、原則として選挙民自身が負擔すべきものであること。黨の内外に手配金等を受取るべきものはないこと。